

長門市総合文化財センター

ヒストリアながと



変わりゆく **な** **が** **と**

長門市駅周辺編

2024.1.24(水) - 3.3(日)

昭和50年代～令和の時代にかけて、長門市内の商業の中心とも言える長門市駅周辺の移り変わりを写真や当時の新聞記事などから追ってみましょう。

昭和後期の市民の憧れ「ながとプラザ」や、長門市駅南口の開発や「ウェーブ」の开店など懐かしい資料をご覧ください。



ながとプラザ開店時のチラシ

没後90年 松尾晚翠

—長門市新収蔵品より—

令和6年

前期 3月8日(金)～4月21日(日)

後期 4月23日(火)～6月2日(日)



「柘榴の図」(部分)

松尾晚翠（長門市仙崎出身）は、明治時代の終わりから昭和時代の初めにかけて、京都を中心に活躍した日本画家です。

長門市では、令和5年12月に、晚翠の子孫の方から80点を超える作品・資料の寄贈を受けました。本展では、晚翠の生涯を紹介するとともに、寄贈された作品やスケッチ帳、資料を2期に分けてご紹介します。

描かれている花鳥からは、晚翠の繊細な筆遣いや写実力を感じることができます。



松尾晚翠

JR 美祢線開通 100 年記念 長門市駅と美祢線

2024
3.8 (金) ~ 8.25 (日)

1924 (大正 13)、国有鉄道美祢線が正明市駅 (現在の長門市駅) まで開通しました。

それから 100 年、美祢線は現在まで多くの 人々の交通路として活躍してきましたが、昨年 夏の水害により現在は運休しています。

長門市駅と美祢線の歴史について、資料や 写真をもとに振り返ります。

『祭祀 (マツリ) の器』

~ 祈りに込められた人々の願い ~

R6.3.8 (金) ~ R6.8.25 (日)

平成 30 年、長門市 向津具の本郷遺跡の 調査が行われ、古墳 時代後期の祭祀跡が 発見されました。

遺跡からは、祭祀に 用いた壺・甕・鉢・



ミニチュア土器 (山口県埋蔵文化財センター蔵)

高坏等の土器とともに、県内最多数となるミニチュア 土器も出土しました。

当時の人々は、人間の力ではどうすることもでき ない自然災害の危険と隣り合わせの中、これらの 土器を使って祭祀を行っていました。出土品から、 雨乞いによる水源確保や豊作への祈りなど、人々の 想いを想像してみましょう。

発見！地域の文化財 中野家住宅 (長門市日置)

令和 6 年 3 月 8 日 (日) ~ 6 月 2 日 (日)



中野家住宅店舗兼主屋



中野家住宅離れ 兼主屋 (明治時代

中期) を中心に、離れ、茶室、蔵などで構成されて いる、街道沿いの歴史的な景観の核となる町家です。

特に、離れに設けられた 3 階建ての洋風の望楼は、 地域のランドマークにもなっており、近年注目 されている文化財です。

中野家は江戸 時代から明治初期 にかけて、長門市 日置の地で商家と して栄え、村会 議員を輩出する など村の経済・ 文化の発展に寄与 してきました。

住宅は赤間関 街道に面した店舗

兼主屋 (明治時代

長門市総合文化財センター ヒストリアながと



長門市東深川 2660 番地 4 TEL 0837-22-3703 FAX 0837-22-3700
開館時間 9:00 ~ 17:00 (入館は 16:30 まで)
入館料 無料 休館日 月曜日 (祝日の場合は翌平日)

最新情報は
こちらから⇒



▲ Facebook



▲ Instagram



▲ Twitter



▲ HP